



かがやけ！とよふく小

学校便り 8号 令和7年6月27日 文責 三牧公久
【校訓】正しく 賢く 健やかに

宇城市立豊福小学校

Toyofuku elementary school



水俣に学ぶ肥後っ子教室

6月20日（金）に、五年生の「水俣に学ぶ肥後っ子教室」がありました。行き先は熊本県環境センター、

国立水俣病情報センター、水俣市立水俣資料館です。私は行きましたので、同行された教頭先生の話を以下に紹介いたします。

午前中は、国立水俣病情報センターで語り部の川本愛一郎さんの講話、「水俣病事件～勇気と愛の物語」を聞きました。スライドの資料を基に水俣病が環境汚染によるものであることや当時の様子について分かりやすくお話をされました。特に愛一郎さんのお父さんは、水俣病で苦しんでいる人に少しでもよりよい生活を送ることができるよう考え、水俣病患者であることを県や国に認めてもらえるよう働きかけ続けられたそうです。正しいと思う行動をとり続けられたお父さんを誇りに思うとおっしゃっていました。

午後は、熊本県環境センターで吉海達也先生からSDGs（世界のみんながずっと幸せになるための目標）についてお話を聞きました。水俣市は環境で誇れる町づくりを目指し、現在も分別ゴミを23に分ける取組を続けているそうです。「ゼロ・カーボンアクションくまもと36」については可能なことには挑戦しようと思いました。また、循環型社会（使い捨て社会からもったいない社会へ）の言葉が印象に残りました。

水俣資料館では、5年生は、班ごとに行動し展示してあるパネル等を見学しながら大事なところはそれぞれがしおりにメモを取っていました。講話の聞き方や環境学習では吉海先生からの質問にも積極的に答えることができました。

田植え

6月23日（月）に五年生が田植え体験を行いました。毎年お世話になっている村田さんの田んぼを使わせていただきました。村田さんによる手植えのやり方の指導後に田んぼに入り苗を植えました。雨の中の田植えとなりましたが、雨にも負けず元気に田植えができました。今後の稻の成長が楽しみです。また、当日は村田さんに加え地域のボランティアの方にも準備等手伝っていただきました。お世話になりました。



水泳の授業

6月16日（月）から水泳の授業が始まります。今週は天気はよくありませんでしたが16日からの週は天気も良かったので子供たちも大変喜んで授業に参加しています。この水泳の授業開始のために、6月9日の週に高学年の子供たちが天気が悪い中プール掃除を頑張ってくれました。また、子供たちの安全確保のために、先生方は5月28日（水）に心肺蘇生の講習を受けました。授業中のプール監視は先生方に加え地域のボランティアの方にも協力していただき複数体制で行っています。ボランティアの方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。

※ カラー版を豊福小学校ホームページに掲載しています。QRコード→

